

刊日四月十二年七月

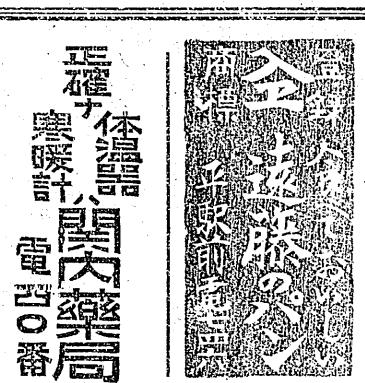
◆敷紙に蜘蛛をうつ扇かな
◆高き日に春蟬を聞く碓水
◆白き花ほのかに立つや夕涼し
◆青苔吹き割つて湖の風涼かな
◆虎杖の花もうちし露佛めし
◆病葉の梢をいたみ描きたり
◆青嵐松の花粉をとばしけり
◆高久院(萍生句帳(萍生會七百例會))

近詠十句

◆水馬みるく雲の崩れけ
◆神鏡の中におろかむ青葉かな

◆懸念所全金五百圓
◆島全金五八圓
◆柳全金拾圓
◆白銀町(電話三二番)
◆加藤業所

價一部金貰錢(廣五五錢十一錢)一月半
料(字詰二十行)一月半
日刊(日曜大祭)一日
福島縣石坂市平長橋(三五番)發行所
電話六三〇番



門專科内

一雷應院入

渡邊内科醫院

消化器病科
呼吸器病科
小兒內科
一般內科

平町田町電話一六一番

高久院
院長 醫學士 高久院
副院長 新潟醫學士 赤羽清忠
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
平町南町電話一二九番

科外

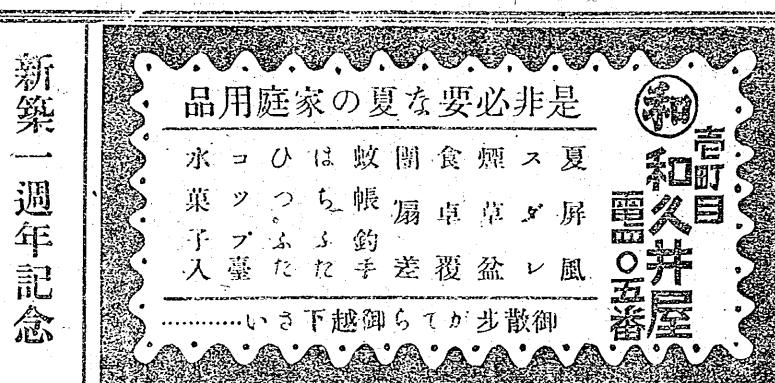
專光上田外科醫院
門科線 入院應需
平町南町電話一二九番

婦人科 佐藤作平
産婦人科 木村寅次郎
平町新川町電話一六四番

内臓外科
骨關節外科
整形外科
太田藤順
平町新川町

故妻ツル儀葬送の際は御多忙中遠路の處態々御會葬被下且御鄭重なる御香奠御贈與を蒙り難有奉深謝候一々拜趨御禮可申上處乍略儀以紙上御厚禮申上候 敬具
昭和四年七月廿四日

三井吳服店



フランス・マルソーリー・葡萄酒
白赤
西村屋藥局
純良にして天下一品の安値
おはなし
三番

會田時計店
平町四(電三六三)
蓄音器・貴金屬
波浮の港の歌手
佐藤千夜子嬢が
心地良き
管絃團伴奏で
ピクターレコードに
帝都流行の
ジャズソング

東京行進曲

科齒
口齒
腔科
科般

神谷齒科醫院
日本齒科 神谷辰夫
平町古銀治町八十八

夏の通品を豊富に取扱へて!!

品質に!!柄行に!!又廉價に!!
御用命はござぞ弊店へ

七月一日ヨリ
夏の着尺モスリン陳列
中形と綿紗の陳列

蒸し暑さに……

押し寄せた海水客

各濱俄かに活況を呈す

ら半町旗亭谷口に於て開催する事になつた會費は金三圓出席希望者は二十五日ま

で半町入村屋旅館まで申し込まれたいと

採炭に一大革命

各炭礦何れも成績良好

花澤輝一君(三)は二十三日午前六時五十九分平驛發列車で應援團三十五名と共に

助役で騒ぐ

近く村會を

海岸地方は二日許り續いた低温にやゝ氣分を殺されたが盛返したむし暑さに俄に活況を見せ、きのふあたりから小名濱、四倉、原釜等の海水浴場は海水浴客や学校の臨海學校等で賑やかになつた、手頃の家は次々と借りられ、各地から避暑の家族が多數入込んで大に海濱情調を味はつてゐる

地主……

一人頑張る

平第三校敷地

平町第三小學校敷地問題は屢報の如く地主の不承諾は六丁目齊藤繁吉氏一人となつたが今は土地收用法の法規に則り有無をいはせず決行せねばならぬ場合に追つてをり且町民の輿論が殆んどそこに一致を見てゐるのと親られてゐる

附議する模様であるが該土地はあだかも敷地の一隅で運動場に位置し校舍新築は何等關係なきを以て町會の決定以前と雖も支障なく入札直移工事着手に至るものと親られてゐる

平町製氷株式會社では八月一日から會社が直接に小賣

石城郡平窪村は村會議員が役場派と非役場派との二派にわかれ常に暗鬭を續けてゐたが最近に於て同村助役の後任決定問題から兩派の間が悪化し益々猛烈さを加へ兩派それゝの候補者を揚げて讓らず義に村會を召集して協議したが結果兩派が衝突した爲め二回派會となつた程である而し助役を缺員として置く事もできないので近く村會を召集して助役を決定することになつたが當日は相當紛争するものと見られてゐる

木村代議士の送別會を開く

既報萬國議院商事會議に列席する事になつた石城郡出身木村代議士はいよいよ八月一日神戸出帆、渡歐の途に着く事になつたので山崎與三郎、諸橋久太郎、高岡唯一郎、安島重三郎の四氏が發起となり石城郡一圓の有志を網羅して盛大なる歡送會を二十六日午後二時か



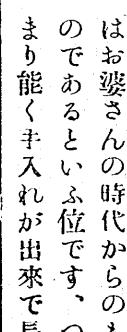
花澤君出發

竹馬登山の壯舉を注目



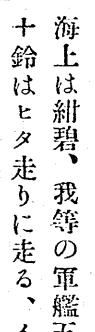
花澤君出發

竹馬で富士踏破の壯舉を企てた半町字白銀町青年團員



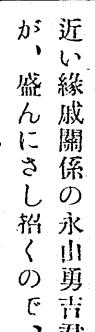
花澤君出發

海上は紺碧、我等の軍艦五十鈴はヒタ走りに走る、イ

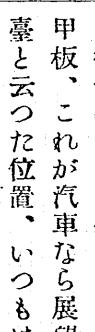


花澤君出發

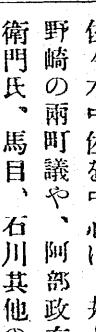
陸地は、ボウツと霧んで



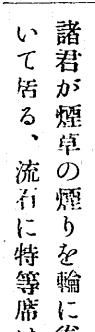
花澤君出發



花澤君出發



花澤君出發



花澤君出發

佐々木中佐は、話せば話す程、感じのよい人である。海上の生活でどんな事が一五六脚、友は持つべきもの永山君は此處で休めといふ

椅子迄違つて折疊み式のが近い縁戚關係の永山勇吉君が、盛んにさし招くのと、ともなはれる儘に、その後甲板、これが汽車なら展望臺と云つた位置、いつもは海上へゆれぬえんでは、船波の上に、浮んで居るのがだもの、頬またつて船酔ひなんか出るもんじやあねえ、俺なんか、もつと斯ふ上下へゆれぬえんでは、船旅らしい氣持がしなくて、一寸も面白くねえんだ」とありの戰々怖々たる人達を煙に巻く、其のまた傍ら

神谷村議の丸百材木店は船には餘程の豪の者と見え「イヤー、こんな穏やかな

の腰掛けに陣取つた千葉辯護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

くなつて居る船量恐怖病者の驚異に價すべき目標の一

つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上野崎の兩町議や、阿部政右衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上

野崎の兩町議や、阿部政右

衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯

護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上

野崎の兩町議や、阿部政右

衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯

護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上

野崎の兩町議や、阿部政右

衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯

護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上

野崎の兩町議や、阿部政右

衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯

護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上

野崎の兩町議や、阿部政右

衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯

護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上

野崎の兩町議や、阿部政右

衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯

護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上

野崎の兩町議や、阿部政右

衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯

護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上

野崎の兩町議や、阿部政右

衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯

護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ

と破顔一笑、今度の六百餘

佐々木中佐を中心に、井上

野崎の兩町議や、阿部政右

衛門氏、馬目、石川其他の諸君が煙草の煙りを輪に卷いて居る、流石に特等席は

の腰掛けに陣取つた千葉辯

護士は、令聞の心をこめら

れたお手製らしいアンドイ

ツチを、開ひて、イヤ食べ

るは、食べるは、其の食慾の旺盛な事よ! 少々人は悪いが、忍かに胸の中で牛乳一合! さりとは又青バクつかれる數を數へて見れば、驚くべし、廿一個と一つたるを確かに失はぬ